

## 指定管理者制度導入施設の第三者評価結果【対象年度:令和4年度】

### 1 評価対象施設

施設名	長野県立武道館	所管部・課	教育委員会事務局 スポーツ課
指定管理者	シンコースポーツ・NTTファシリティーズ共同事業体	指定期間	令和2年3月1日～令和6年3月31日(5年1か月)

### 2 評価者(敬称略,五十音順)

評価者名	役職等	備考
伊藤 仁	長野県武道連絡協議会代表	指定管理者選定会議構成員(当日欠席)
今井 智恵	弁護士	専門家
木内 進	佐久市教育委員会スポーツ課長	市町村等代表
篠崎 友宏	公認会計士	専門家
島崎 剛	長野県高等学校体育連盟理事長	利用者代表

### 3 評価の実施状況

年月日	場所	内容
令和5年12月19日	長野県立武道館 (佐久市猿久保165-1)	令和4年度の管理運営状況及び県のモニタリング状況について

### 4 評価結果

項目	指摘・意見等	左記への対応方針
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設置の趣旨に沿った管理運営を実施しており、施設利用時の音量基準を設けたり、近隣住民への行事予定表の回覧、イベント時のゴミ拾いなど、地域との関係を良好に保つ努力がなされている。</li> <li>・国の施策により部活動の地域移行が進められている中で、利用予約・減免等の観点で配慮が必要となると考えられる。</li> <li>・施設の利用目的に沿って武道を中心にイベントを中心に、また可能な範囲で多目的な利用手段を模索するなど考慮されており、適切に管理運営がなされている。</li> <li>・学校部活動関連の大会については、利用団体の増加に伴い、他施設も含めて休日の開催日が確保しづらくなっている状況があることから、引き続き、施設の目的に沿った利用日程の確保できるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携をより一層強化し、地域に開かれた教育・文化・スポーツの拠点として住民の理解が得られる形での施設運営に努めてまいります。</li> <li>また、県内武道の普及・振興の中核的役割を果たすため、利用予約の調整にあたっては、武道系の行事による利用が確保されやすいように働きかけるとともに、一方で施設が十分に活用されるためには、ある程度多目的アリーナとして利用の門戸を広げる必要があると考えており、武道の利用機会が極端に損なわれない程度に双方のバランスを取りながらの施設運営を行ってまいります。(指定管理者)</li> <li>・部活動の地域移行については、武道競技の振興や競技人口獲得の観点からも、重要なものであると捉え、必要な検討をしてまいります。(県)</li> </ul>
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設置の趣旨に沿った優先順位があるものの、行事間の調整が行われ、他の興行も可能な範囲で利用されているほか、個人利用については適宜利用がなされており、平等が確保されている。また、頻回の利用者を想定した回数券制度もとられるなど、利用しやすい取り組みがなされている。</li> <li>・部活動等を中心とした集中的な需要について十分に配慮されながら、市民に対する平等な利用の確保に努めているものと評価できる。</li> <li>・引き続き利用者の目線に立った取り組みの継続、取り組みの向上をお願いしたい。</li> </ul>	<p>今後も関係法令を遵守し、実際に利用されるお客様に対し、利用の平等性・公平性を確保してまいります。また、年齢・性別・ハンディキャップ・国籍等による差別や使いにくさを取り除き運営いたします。空き状況については、館内掲示やウェブサイトへ公開し、利用促進につなげられるよう取組みます。(指定管理者)</p>

(様式3)

項 目	指摘・意見等	左記への対応方針
利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズスペースも充実し雨天時も楽しめるような道具が設置されており、ピクトグラムの利用など、様々な人が利用しやすい状態に整えられている。</li> <li>・キッチンカー等の物販単体での使用料金の基準があれば、出店者が増え、利用者サービスの向上に繋がるのではないかと。</li> <li>・利用者のニーズを考慮した物販や近隣住民の利用ニーズの掘り起こしにも具体的アクションをもって取り組みがみられる。</li> <li>・減免措置の拡大をお願いし、様々な人が利用しやすい条件整備をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ、施設そのものの存在を広く周知する必要があると同時に、誰もが気軽に立ち寄ることができ、より価値ある施設として認識されるよう、時代のニーズを反映したサービス向上策の実施を計画してまいります。(指定管理者)</li> <li>・料金体系や多目的に選ばれる施設等の検討を通して、より一層の利用者サービスの向上を図ってまいります。(県)</li> </ul>
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラウンドトレーニングの設置で近隣住民が気軽に施設を利用できるように整備されている。利用料も低額なので、周知によって利用促進を図りたい。また、地元の物産の販売もなされており、遠方から当該施設を訪れる利用者はお土産も購入できともよい。需要に応じての判断にはなと思うが、取扱い品数や種類が増えていくとさらによくなるのではないかと。</li> <li>・利用需要とのバランスも考えながらも興行需要の掘り起こしについてもよく検討をされ、またそのための具体的なアクションをされていることがうかがえる。</li> <li>・武道関係の教室開催やスポーツイベントの開催は、競技者数の増加に重要な取組みであり、有意義であると感じる。また、小さなお子さんに武道競技を始めてもらうには、保護者へのアピールも方法のひとつであると考えられるので、利用者の増加・競技層の獲得、双方の取組みとして実施していくとよい。</li> </ul>	<p>エクササイズ教室の実施については、施設利用機会の創出や空き施設の有効利用という観点から今後、さらなる利用促進および新規需要の掘り起こしを図りたいと考えております。特に武道関係の教室参加者を増加させることは、そのまま武道の普及に直結することから、より広く実施されるよう取り組んでまいります。物販についても、ご指摘のとおり需要に応じて長野県や佐久市の地元産品や授産品、武道館オリジナル商品の販売品目増加について検討してまいります。(指定管理者)</p>
職員・管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員に対して各種研修を実施したり、人手が不足する場合には市内の他施設から職員を融通するなど円滑な管理がなされている。</li> <li>・指定管理者社内での連携をうまく活用しながら大変効率的に運営されている。</li> <li>・大型イベント時等、適切な人員の配置により、安全・安心が確保されるようお願いしたい。</li> </ul>	<p>人件費が高騰している中で、管理運営上必要人員の確保と人件費の圧縮に取り組んできたが、今後も利用状況を考慮したうえで管理運営に支障のない適正な人員配置を進めるとともに、大規模イベント時等の臨機応変な対応が可能な体制を整えてまいります。(指定管理者)</p>
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍や光熱費価格高騰の影響が大きいところであるが、コスト抑制に努められている。地元住民でも施設の存在を知らない人が一定数いることから、施設の周知を行って利用を促進し、収入を伸ばしてほしい。</li> <li>・コロナ等の外部環境要因を大きく受けてきたが、徐々に収支状況が回復していることが伺える。今後の収支改善に期待する。</li> <li>・収支改善のための経費削減を検討のうえ、管理運営がなされている。引き続き、利用者への還元等へ繋がっていただきたい。</li> </ul>	<p>自治体の広報誌やSNS、広告の掲載、チラシの折り込み、近隣への回覧板など複数の手段を用いて施設の周知を図ってまいります。令和4年度はコロナ禍の影響で利用が減少した分、冷暖房費の削減にもつながった一面もあるが、機械設備の運転方法の見直しや空調温度設定の見直し、不要な照明の消灯などによる光熱費の削減および、人員配置の見直しによる人件費削減についても継続して取り組んでまいります。(指定管理者)</p>
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より一層の周知・利用促進に努めていただきたい。</li> <li>・自主事業については採算も重要ではあるものの、この施設をより多くの方に活用してもらうための様々な取り組みに注力しており、その積極的な姿勢がとても評価できる。</li> <li>・現在の取り組みをもとに、利用しやすく、より良い武道館にするための取り組みをお願いする。</li> </ul>	<p>武道館としての利用目的を重視しつつも、イベントや興行など収入増加となる行事や、合宿利用の誘致活動にも積極的に取り組んでまいります。(指定管理者)</p>